

～親子のコミュニケーション力を育み、生きる力と笑顔をお届けます～

NEWS

株式会社 happy communications
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋
2-2-11 三軒茶屋プラザ502
TEL:03-3419-7459 / FAX:03-3418-1862

Oyakoyoga
お や こ よ が

ハピコミおやこヨガとは・・・

代表神谷自身の育児経験と自閉症・ダウン症など障がい児の遊びボランティア経験からメンタルヘルス、親子のスキンシップに関心をもち生まれました。

そして、2007年3月にプログラムがDVD化。
「おやこYOGAカラダであそぼエブリデイヨガ」
ソニー・ミュージックダイレクト

DVDを購入したナーザリーから依頼があり、子どもと先生のスキンシッププログラムとして最初に導入されました。以後、保育、教育、行政、企業など、さまざまな場で導入されています。

現在インストラクターは1都2府13県。元保育士幼稚園教諭、高等学校教諭、看護師、言語聴覚士、リトミック講師など、保育・教育現場出身者が3割を占めています。

導入実績：子すずめ保育園(松戸市)、和光市体育館、豊橋市ここにこ、交通児童館ほか



脳を育てる親子のコミュニケーション講座 「感じる」「触れる」おやこヨガ&トイレットコミュニケーション2011年5月開講

おやこのコミュニケーションを啓蒙する株式会社happy communications おやこヨガ事業部(所在地: 東京都世田谷区、代表取締役: 神谷 美奈子、電話: 03-3419-7459、<http://oyakoyoga.com/>)と一般社団法人日本ナニー協会は(<http://nanny-japan.com/>)は、2011年5月より、脳を育てる親子のコミュニケーション講座を東京・目白のウィズダムアカデミーでスタートします。

0才からの親のスキンシップと排泄の自立が子どもの基礎をつくる

自立力を柱に、次世代育成のサポートをしている日本ナニー協会、0歳からのおやこのスキンシップ・コミュニケーションを啓蒙するハピコミおやこヨガは、ともに子どもの生きる力の基礎教育として「コミュニケーション講座」を2011年5月から1年1クールでスタートします。

おなかにいる時期から子どもの五感は作られ、人間の基本となる能力の大部分は1才にはほとんどできあがり、この基礎の上に、6歳までに高度な働きをする脳の回路がつくられます。親子のスキンシップは、触れることでオキシトシンというホルモンが分泌され、子どもには心の安定を、親には母性が生まれてきます。「子供の脳は肌にある(光文社新書)」では、0歳でスキンシップを受けた子と受けなかった子の1年後の体重を比較したところ、スキンシップを受けた子どもは受けなかった子の3倍の体重増加があったと伝えています。肌に心地よい刺激を受けること＝ハピコミおやこヨガで、母親に存分に触れてもらい、一緒に体を動かす、トイレットコミュニケーションで、自我が芽生える2歳までにおむつをはずし、子どもがストレスなく排泄の自立を完成させる、それぞれのアプローチで脳への刺激を存分に与えることを1年かけて行っていきます。

ハピコミおやこヨガでは、触れながら一緒に体を動かすことで絆を作る

7か月からできるハピコミおやこヨガ。最初は、母親の膝の上、向き合う、手をつなぐなどの五感を通じたコミュニケーションを行いながら一緒に体を動かします。話せる発達段階ではないですが、聴覚、視覚を刺激して事、物と言葉をつなげる時期。ナビゲーションは心理学をベースにしているので、子どもたちのやる気や笑顔、できた！成功体験や褒める・・・を取り入れながら、生活体験でなじみのある大好きな動物や昆虫のポーズで親子のスキンシップと五感に触れる体験を提供し脳を鍛えていきます。

■講座概要 場所:ウィズダムアカデミー(東京都豊島区目白)
開催日:毎週第二火曜日コース、第二金曜日コース 定員:10組 講座時間:90分

この件に関するお問い合わせは、株式会社 happy communications 赤星(あかほし)までお願いいたします。

TEL: 03-3419-7459 / FAX:03-3418-1862/akahoshi@hapikomi.com

オフィシャルサイト:<http://oyakoyoga.com/>